

2020年度 HELCY研修会 コロナに負けない家庭科教育を考える



Home Economics Lesson / Learning Community in Yokohama

第1回 学び続ける家庭科教師のための情報交換・実践共有の場をつくらう

日時 2020年5月31日(日) 13:00~15:00

ZOOMによるオンライン開催

2005年に横浜で「家庭科授業研究会」を立ち上げてから、すでに15年になります。当初は、科学研究費を得て現場の家庭科の先生方と一緒に授業研究を展開しようという目的で始まった研究会でした。

あれから年月が過ぎ、家庭科教員支援ネットワークの構築と研修組織づくりをメインテーマとして、2018年度から新たな科学研究費を得て始動したのがHELCEY (Home Economics Lesson Community in Yokohama)です。

2020年度は新型コロナウイルスのパンデミックにより、異例の新年度を迎え、対面で集って開催する研修会の実施が困難になりました。今まで学校で当たり前のこととして実施してきた調理実習や触れ合い体験学習、共同でミシン等の機器を使用して製作する被服実習などすべてに制約がかかり、実施できないことが増えました。このようなまだかつてない、授業観の転換を余儀なくされた新学期から、HELCEYはZOOMによるオンラインで開催することにしました。

ICTを活用することによって、どこまで家庭科教育の充実が図れるのか。混迷する社会と学校教育が、新しい可能性に満ちたスタートラインになるように、教師の学びを止めない、HELCEYとして始動します。

第1回は、今現場で何が起きているのか、どのような取り組みをしているのか、情報交換をするとともに、現状の下で何ができるのか、考えていきます。

参加申込は、Google フォームからどうぞ

<https://forms.gle/6p1qX647khV2aDDw5>

問い合わせ先 helcyfrom2019@gmail.com

◆ SCHEDULE ◆

13:00~13:30 話題提供-「新しい生活様式」における「よりよい生活」と家庭科

13:30~14:00 情報交換と課題の共有-グループトークから全体でシェアへ

14:00~14:45 直面する課題とどう向き合うか-全体でディスカッション

14:45~15:00 まとめ

HELCEY Manager

横浜国立大学 教授 堀内かおる



「よりよい生活」を追求する家庭科教育が直面するコロナ禍中の学校教育。「新しい学校の生活様式」という社会規範のもとで、私たちは一人の生活者として、どのように多様で個性的な「よりよい生活」を追求していったらよいのでしょうか。「一つの答え」を求めるのではない家庭科教育を通して、今のような学びが可能なのか、考えてみましょう。



HELCEY のロゴマークは

ガーベラの花

ガーベラの花言葉：「希望、常に前進」を掲げながら、家庭科教育の未来に向けて 歩み続けます